

第4学年 国語科学習指導案

日時 平成16年6月28日(月)

児童数 男6名 女5名 計11名

指導者 野中節子

1 単元名 段落のつながりに気をつけて読もう 「ツバメがすむ町」

2 単元について

(1) 教材について

学習指導要領解説における第3学年及び第4学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにする」である。その目標を受けて本単元は、「身近な生き物の暮らしに興味をもち、段落のつながりを考えて正しく文章を読む」ことを指導する。この教材は、3年生までに学習してきた段落の学習をさらに発展させ、「段落と段落のつながり」という文章構造についての学習が設定されている。

児童は、ツバメという身近な野鳥の存在に興味をもちと思われる。そして、著者が問題として書き表していることを読み取りながら文章構造を学習していくであろう。後半の学習のツバメの生態について記した本にも興味をもって取り組むと思われる。

(2) 児童について

児童はこれまで、3年「ありの行列」で、「段落」の存在と形式・意味を知り、まとまりに気をつけながら読み、内容をとらえる学習をしてきている。特に問題提起の段落については、指導を繰り返した結果、ほぼ間違いなくみつげられるようになってきている。そして、説明文が何について述べられているものであるかを考えるときに問いかけの文に着目すればよいことが徹底されてきている。

三年下巻「動物とくらす」では、「たとえば」という言葉を例にとり、ある言葉に注目して、そこに書かれている内容を推測するということを学習している。児童は、考えるときに本文にかえり、叙述の中から根拠を探そうとする力がついてきている。

個別指導が必要な児童は、「説明文の中心を押さえて読むこと」が落ちている。そこで、文章中から重要な言葉を見つけたり、段落どうしはどのようにつながっているかを考えさせたい。

(3) 指導について

本教材では、「ありの行列」で学んだ、段落どうしの関係を学習することを発展させて、さらにいくつかの段落が結びついてあるまとまりを構成し、それらのまとまりが集まって一つの文章を作り上げているというところまで理解させることを目的としている。そのために、各形式段落に書かれていることを確実につかみ取り、それらの段落がそれぞれどのようなまとまりを形成しているかを考えさせながら指導する。「調査」と「結果」を表す言葉に注目し、文章の構成を考えさせたい。

後半では、読む力をつけるために、情報収集としての読みを取り入れる。ツバメの生態について記した本を教師側から紹介したり、児童に探させたりして、書名の一覧表を作る。その中から、各自読みたい本を決めて読む。そして、読んだ後で発表会を持つ。以上のことからさまざまな書物の中からどの本を、また、本の中のどの部分を読めばいいかを選ぶことになり、必要な部分について細かく読む活動が展開され情報収集としての読む力がつくと考えられる。

3 単元目標

(1) 身近な生き物の暮らしに興味をもち、段落のつながりを考えて正しく文章を読む。(読イ・エ)

(2) 図書館を利用して、野生動物の生態について記した本を探して読む。(読ア)

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・「ツバメがすむ町」を読んで調査のしかたやまとめ方に興味をもち、進んで読もうとしている。	・「ツバメがすむ町」の内容を、調査の目的・方法・結果・考えられることの項目に即して整理している。(読イ・エ) ・図書館を利用し、動物の生態について記した本を探して読んでいる。(読ア)	・段落どうしがつながって大きなまとまりとなり、問題提起・二つの調査・まとめという全体の構成になっていることを理解している。(言オ(イ))

5 単元の指導計画

	時	指導目標	学習活動	評価規準（個に応じた指導）
つかむ	1	全文を読み、感想を書くことができる。	・野鳥について知っていることを発表する。 ・教材文を読み、感想を交流する。	・「ツバメがすむ町」を読んで調査の仕方やまとめ方に興味をもち、進んで読み、感想を書いている。（関・意・態）（読工）
	2	学習計画を考えることができる。	・学習のめあてを確認し、学習計画を立てる。	・今後の学習の進め方に興味をもち、学習計画の話し合いに積極的に参加している。
ふかめる	3	文章全体を4つに分け、小見出しを考えることができる。	・教材文を読み、全体を4つのまとまりに分け、小見出しを付ける。	・「ツバメがすむ町」の内容を、調査の目的・方法・結果・考えられることの項目に即して整理している。（読イ） 大事な言葉に注目させる。（D児、E児）
	4	筆者が何に疑問を持ったのか読み取ることができる。	・疑問が書かれてある段落を見つけ、どうしようとしたのかを書く。	・形式段落2から筆者が何に疑問を持ち、どうしようとしたのかを読み取り、ワークシートにまとめている。（読イ） 問題提起の言葉に注目させる。（D児、E児）
	5	調査1について読み取ることができる。	・調査1を整理し、ワークシートにまとめる。	・調査を表す言葉と結果を表す言葉を探し、読み取ったことをワークシートにまとめている。（読イ） 調査・結果・考察を表す言葉に注目させる。（D児、E児）
	6	調査2について読み取ることができる。	・調査2を整理し、ワークシートにまとめる。	・調査2の方法・結果・考察について読み取り、ワークシートにまとめている。（読イ） 調査・結果・考察を表す言葉に注目させる。（D児、E児）
	7	筆者の考えや伝えたいことを読み取ることができる。	・筆者の考えや伝えたいことをまとめる。	・最終段落にある、今の京都の人々の思いを読み取り、ワークシートにまとめている。（読イ）
まとめる	8 本時	段落の構成とその工夫について話し合う。	・教材文の書き方の工夫を話し合う。	・文章構成図から筆者の段落構成の工夫を読み取り、使われている言葉から表現の仕方の工夫を理解しようとしている。（読イ）（言オ（イ）） 調査が二つあることに注目させ文図を書かせる。（D児、E児）
ひろげる	9	ツバメの生態について記した本を探し、書名の一覧表を作る。	・ツバメの生態について記した本を探す。	・図書館を利用し、ツバメの生態について記した本を探している。（読ア）
	10	一覧表から、各自読みたい本を決めて読む。	・読みたい本を決めて興味がかかれた生態について読む。	・ツバメの生態に興味をもち、一覧表から読みたい本を決めてメモを取りながら読んでいる。（関・意・態）（読ア）
	11	ツバメの生態について知ったことを発表する。	・自分の選んだ本の内容を発表する。	・ツバメの生態について知ったことを聞いている人が分かるように発表している。（読工）

## 6 本時の指導 (8/11)

(1) 本時の目標 筆者の段落構成の工夫や表現の仕方の工夫を理解することができる。

(2) 展開

段階	学習活動と内容	全体指導	個に応じた指導	評価
つかむ 5分	1 学習課題を把握する。  課題 段落と段落のつながりを考えたり、書きぶりを考えたりして、筆者が工夫したことは何か調べよう。	・本時のめあてを確かめる。		
ふかめる 25分	2 段落ごとに読み、要点を確認する。  3 意味段落の小見出しを確かめ、文章全体の組み立て図を書く。  4 表現の工夫を考える。 ・問いかけの文型が、読み手に興味をもたせ、先を読み進めたいことに気付かせる。 ・統括的な手法により筆者の考えが理解しやすくなることにも気付かせたい。	・前時まで書き込んできたワークシートをもとに確認させる。  ・4つの大きなまとまりを思い出させながら組み立て図を書かせる。	4つのまとまりを書いたものを掲示しておく。 (D児、E児)  考えつかない児童のために根拠のある発言で理解を促す。 (D児、E児)	・二つの調査を意識した文章構成図を書くことができるか。(ノート)  ・表現の工夫をとらえることができたか。(発言)
	調べてみようと思った疑問が2段落に書かれてあり読み進めたい。 「調査を行ったのは」や「調査の結果」と書いてあるので調査したことが書いてある段落か結果が書いてある段落か分かりやすい。 筆者の考えが最後に来ていてまとめられている。 数字が使われているので正確に分析していることが分かる。 質問したことが具体的に書かれてあるので調べるときの参考になる。 文だけではなくツバメ地図があるので分かりやすい。 ツバメの写真があるので興味がわく。			
まとめる 10分	5 学習のまとめをする。 ・学んだことをまとめる。	・自分の考えをノートにまとめさせたうえで発言させる。	まとめるときに困っている児童には、板書を活用させる。(D児、E児)	・表現の工夫をとらえることができたか。(ノート)
ひろげる 5分	6 本時の学習を振り返る。 ・学習範囲を読む。  7 次時の学習範囲を確かめる。			

(3) 具体の評価規準と指導の手立て

読む能力	A	B	Bに至らせるための手立て
<p>・筆者の段落構成の工夫や表現の仕方の工夫を理解することができる。</p>	<p>・文章構成図から筆者の段落構成の工夫を学習プリントに書き込む。使われている語彙から表現の仕方の工夫を理解し、工夫していると考えた理由を説明できる。</p>	<p>・文章構成図から筆者の段落構成の工夫を読み取り、使われている語彙から表現の仕方の工夫を理解することができる。</p>	<p>・文章構成は、紙板書を使いながら個別に説明する。          ・表現の仕方の工夫は、全文視写した紙板書を使いながら言葉に着目するように印をつける。工夫されていると考えた理由は、友達の考えを聞きながら理解できるようにさせる。</p>